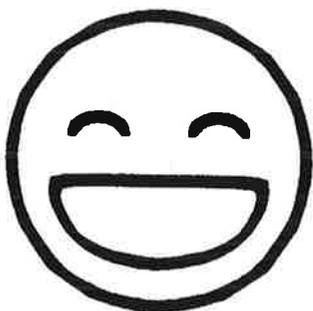


HSK NPO 法人 「文福」 ニュース ❀❀❀❀



「障」ちゃん



NO.296

冒頭の一言

(6)

正月元旦から早くも 1 ヶ月。1 年で一番寒い時期に突入しました。皆さん、寒さや雪にめげず元気にいきましょう。冬や雪が大好きな人は雪合戦やソリすべりなどで雪を楽しんでください。寒さや冷たいのが苦手な人は、こたつやストーブの前で餅でも食って体力をつけて下さい。冬来たりなば春遠からじ、暖かい春はもうすぐそこです。今年 1 年の目標や予定を元旦に立てた人は、どう実行に移すか考えていると思います。計画を立てていない人はこれからでもまだ間に合います。かくゆう私も計画立てていませんでした。「まだ間に合うなら」このニュースを見ながら 1 年の計画をじっくり練ってください。

—もくじ—

冒頭の一言 … 1	忘年会を終えて … 2	1 月障害者部会議報告 … 3
Penko … 4-5	「まっち」31 号の原稿大募集 … 6	
運営会議報告 … 7	ありがとうコーナー … 8	

HSK 毎月二回（一、三、五、八、一〇、一三、一五、一八、二〇、二三、二五、二八日）発行

一九九四年八月四日第三種郵便物承認

忘年会を終えて

去る、12月17日にホテルグランテラス富山にて文福の忘年会を行いました。コロナがだいたい収まって来たので昨年に続き今年も出来ました。まず、会場探しから始まったのですが、中々広い部屋で、車椅子用のトイレが各階にある所が無くて苦労しました。約一か月半の準備期間を経て今回は予定を上回る参加者が集まりました。参加してくださって、ありがとうございました。

参加された方々、如何でしたか？

まだまだ準備不足なところがあったと思いますので、感想など率直な意見を聞かせてもらえたら次回の参考にしたいと思っています。

さて、副理事長の開催の挨拶に続き乾杯をしてから、自己紹介をしました。日頃は利用者さんの所に入っているけど、他の利用者とか介助者と顔を合わせたこともない、初めて会うという人もいました。また、結婚したというおめでたい報告もあって、みんなで盛り上がりました。

美味しい料理を味わっている間に、ビンゴゲームを楽しみました。しばらくは、各自自由に会話や記念写真を取り合っってゆっくりとした時間を過ごして、最後に理事長の「来年もよろしくお願いします」という挨拶で終わりました。簡単ですが、報告をさせてもらいました。 河上



1 月 7 日 障害者部会議報告

オンライン参加者・2 名 ・ 欠席者・2 名

- ① 1 昨年、富山短期大学健康福祉学科から授業に来てほしいと依頼があり N 氏が行ってきたが、今年も授業の依頼があり、1 月 7 日、正式に文福に授業の依頼文があり、1 月 14 日に N 氏が出向き 1 年生に授業を行う事になった。

その謝礼金の 50%は障害者部会の通帳に入金し、50%は N 氏に渡す事になった。

- ② 来年度、障害者部会として、どのような活動をしていきたいかを話し合った。まずはバリアフリー化が進むように要望書を書く事になった。要望書の書き方としては、部会員が住んでいる地域でバリアフリー化が進んでいなく、例えば出入口が狭すぎるとか、スロープがなくて入れないとか、自分達が困っている場所に、そこに住んでいて、そこを利用したいと考えている障害者部会員が要望書のたたき台を書いてきて、それを障害者部会で完成させて要望書を送り、誰もが住みやすい地域になるように活動していく事になった。

障害者部会のグループラインに、部会としてやりたい事をどんどん書いていこうという意見が出た。

- ③ 災害時にはお互いの安否確認に部会のグループラインを活用し自分の無事を発信しよう！という事で、新たに O 氏が障害者部会のグループラインに入った。

2 月の障害者部会は4日火曜の14時から行う。

文責・中村



Penko のおひとりさま
珍道中!! (Part70)

2024年の12月、前回に引き続いて「第60回第九交響曲 歓喜の夕べ」2024」に参加しました。

富山出身のソリストさんたちがほとんど集まり、メンバーの中に射水市出身のテノール歌手、澤武紀行さんが参加されると知り、「間近で見られる～」というミーハーぶりを発揮し、参加することにしました。

合唱団の皆さんとも1年ぶりに再会できて喜び合い、練習やリハーサルの時は世話好きのお姉さま方が数人いて、着替えなどお世話をしてもらい、本番はヘルパーさんに付き添ってもらいました。

今回は練習から本番まで休まず出席して皆勤賞をもらいましたが、今回はそんな気負いもなく自分が行けるペースで参加しました。

人数も合唱団だけで350名という大所帯で、その中で車いすに乗った男

性も 1 名参加されていて、心強かったです。

数年前に難病を発症されて言葉がすぐに出ない方なのですが、第九を歌いたいと奥様と参加されていました。子供さんが 2 人大人の男性ですが、2 人ともオーケストラの一員で、家族総出で参加されたことに感動しました。リハーサル前までは挨拶程度でしたが、本番では控室で一緒になりたくさんお話しました。

当日は客席が満員となり、拍手が鳴りやみませんでした。

澤武さんを間近で見られて喜んでいたのであります。

今年はオーバード・ホールが使えなく、今後の話がされなかったのどうなるのか気になります。

練習や本番で送迎して下さった方、当日付き添って下さったヘルパーさんのおかげで参加することができました。ありがとうございました。



「まっち」31号の原稿大募集

季刊誌「まっち」個人史・社会問題・そして人と人を結ぶことを目指し発行しています。

その「まっち」30号テーマ『自分の推し』を発行する事ができました。

これもひとえに皆さんが原稿をお寄せ下さったおかげだと思っています。この場をかりて深くお礼を申し上げます。m(__)m

さて、次号のテーマは『歳を経て』です。

誰にでも平等に時は流れ歳を経ていきます。若い頃にはできていた事ができなくなったり、痛い所が増えたりとか、若い頃とは考え方が違ってきたりとかありますよね。

また子供の頃には考えもしなかったような事を大人になり考えた。とか、子供の頃の想いと、大人になった今の想いとは違う事が多々あるかと思えます。

そんな貴方の気持ちや想いを書いて【まっち】にお寄せ頂ければ嬉しく思います。

皆さんからのステキな原稿を編集者一同お待ちしております。

原稿締め切り 4 月末日 発行 5 月末です。

もちろん、他のテーマや詩や俳句、川柳、短歌、イラスト(絵)等の原稿もお待ちしています。



運営会議報告 2024 年 12 月 24 日火曜日現在

●学習会 今のところ予定はなし。

●障害者部会

来年度の障害者部会の活動については、今後、障害者部会として、どのような活動をしていきたいかを話し合った。前々回と前回で話しあった部会員が住んでいる地域で、バリアフリー化が進んでなくて自分達が困っている所にバリアフリーにしてほしいとの要望書を書き送れば良い。という案が出た。

グループラインについて、災害時にはお互いの安否確認に部会のグループラインを活用し自分の無事を発信しよう！

●派遣 特になし。

●レクリエーション 今後の予定は未定

●障ちゃんニュース

先週印刷してもらって、発送作業をしている最中。

来年早々に発送できたらと思っている。次回のニュースは締め切り 1 月 7 日火曜日。

●まっち

30 号のテーマ「自分の推し」。〆切は 12 月末日、発行予定 1 月末日。テーマ以外の原稿も随時募集中。

●その他

- ・来年度の計画と予算をたてなければならぬので、1 月の末から 2 月の頭で大枠だしてください。
- ・年末年始の事務所の休みについて、12 月 28 日から 1 月 3 日まで休みです。

次回の運営会議は 1 月 28 日（火）14 時から

報告者：森田

ありがとうコーナー

2025年



★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今年もよろしくお祈いします。

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今年は、お正月休みが長かったところが多かったのではないのでしょうか？

12月の終わりから青森や山形、新潟が大雪に見舞われていますが、まだ、1月半ばにもなっていないので先が長いので思いやられます。個人的に心配なのが能登半島地震で建物が弱くなっているところへ雪が多く積ったら重みで潰れるのではないかと思ってしまうのです。

(アパッチ)

2024 年度新規会員・継続会員

高井 弘子さま

いただきもの

若部 将哉さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉312

編集人：特定非営利活動法人 ^{ぶんぶく}文福

〒930-0138 富山市呉羽町7276番地3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 460-0390

定 価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。